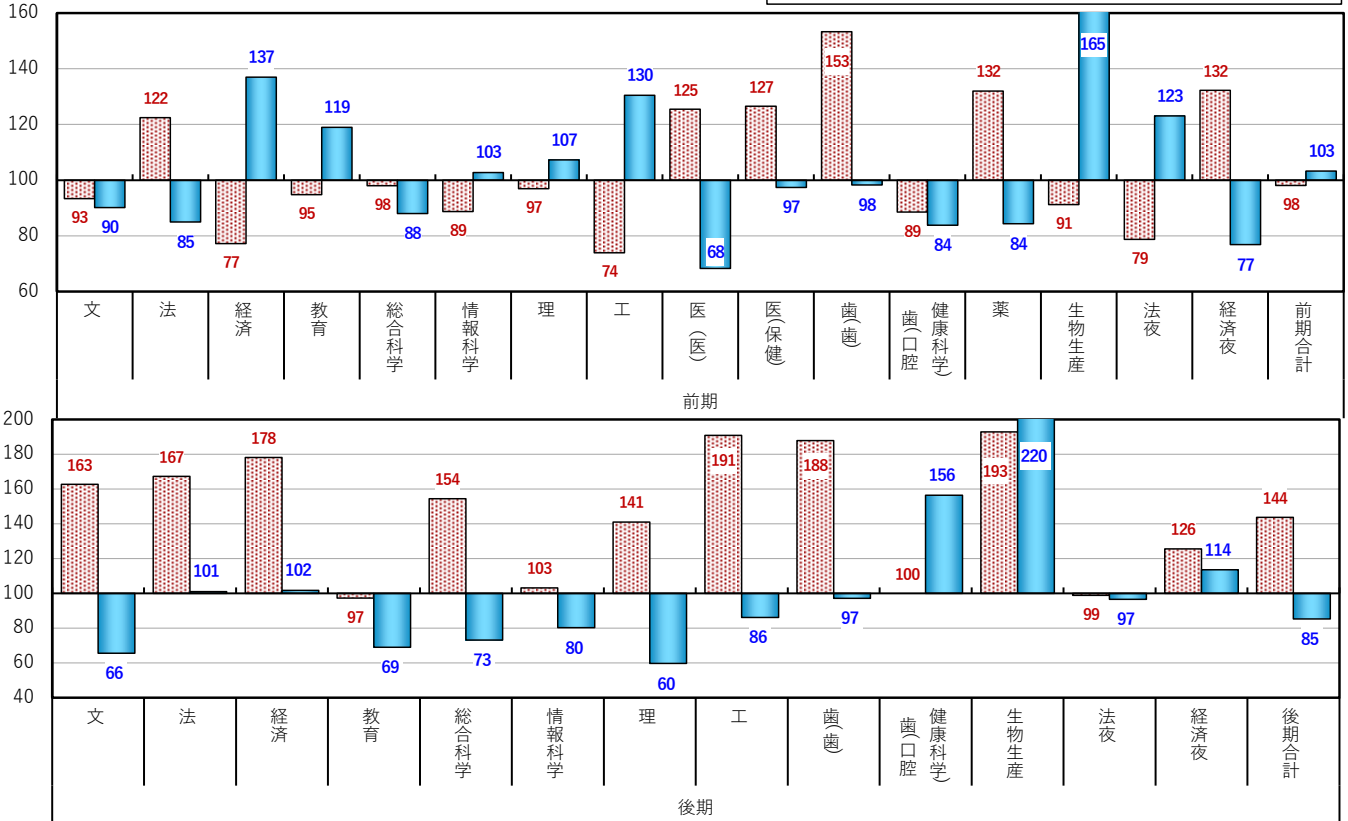


広島大：前期はやや増加に留まる、後期は反動と併願動向変化で大幅減少 前期：+132人 後期：-413人

※前年度の志願者数を100とする指数

■ 2022年度/2021年度 ■ 2023年度/2022年度



主な入試変更点

キャンパス移転：法…東広島キャンパス<東広島市>→東千田キャンパス<広島市中区>  
 第1段階選抜基準変更：医(医)<前>…7倍(通過予定人数：630人)→約5倍(通過予定人数：約450人)  
 合否判定基準変更：医(医)<前>…A配点(理科重視型)、B配点(一般型)  
 →A(s)配点(理科重視型)、A(em)配点(英数重視型)、B配点(一般型)  
 ：薬<前>…個別のいずれかの科目の得点が学科受験者の平均点の60%に満たない場合は、不合格とする  
 →個別の化の得点が学科受験者の平均点の60%に満たない場合は、不合格とする  
 選抜方法：後期日程廃止…教育(学校教育/初等教育教員養成、学校教育/特別支援教育教員養成  
 生涯活動教育/音楽文化系)  
 募集人員：教育(学校教育/初等教育教員養成)…<前>102人→100人  
 (学校教育/特別支援教育教員養成)…<前>19人→22人  
 (生涯活動教育/音楽文化系)…<前>13人→16人  
 情報科学…<前>72人→90人、<後>6人→10人 理(生物科学)…<前>27人→29人  
 工(第三類)…<前>90人→80人、<後>7人→10人  
 個別試験：理(化)<後>…理→面

COMMENT ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は共通テストの平均点アップによる難易度の高い国立大への強気な志願動向の影響から、3年連続減少の反動は小さく132人(103)のやや増加に留まった。学部・学科別では、生物生産(165)、経済(137)、工(130)は大幅増加。一方で、医(医)(68)、歯(口腔健康科学)(84)、薬(84)は大幅減少。後期は前年度が共通テストの平均点大幅ダウンの影響で難易度の高い前期国立大志願者の併願先として狙われたことで大幅増加したが、その反動と共通テストの平均点アップによる併願動向の変化で413人(85)の大幅減少。後期日程廃止の教育の3コースを除いても236人(91)の減少。学部・学科別では、生物生産(220)は倍以上、歯(口腔健康科学)(156)は大幅増加。一方で、理(60)、文(66)、教育(69)、総合科学(73)は大幅減少。なお、法夜、経済夜を除いても、前期は139人(104)のやや増加、後期は418人(84)の大幅減少で大学全体動向と同じ。

<前期日程>

- 文(90)は、系統への低い人気もあって、2年連続減少。志願者数は2018年に募集人員が90人になって以降で最少、志願倍率も2.0倍→1.8倍にダウン。
- 法(85)は、前年度にすでに告知されていたキャンパス移転効果で大幅増加した反動で3年ぶりの大幅減少。
- 経済(137)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。志願倍率も1.8倍→2.5倍にアップ。
- 教育(119)は、3年連続減少の反動で大幅増加。コース別では、15コース中13コースで増加。(特別支援教育教員養成)(204)は2年連続減少の反動で倍以上。(自然系)(182)は大幅増加で2年連続増加。(国語文化系)(168)は大幅増加で志願倍率は1.6倍→2.8倍で7年ぶりに2倍台になった。(造形芸術系)(167)は大幅増加で6年ぶりに志願者数が10人に達した。(人間生活系)(138)は前年度ほぼ半減の反動で大幅増加。(教育学系)(137)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。(技術・情報系)(132)

- は大幅増加で志願倍率も 2 年連続 2.2 倍→2.9 倍にアップ。一方で、(英語文化系)(88)は前年度大幅増加の反動で減少。(健康スポーツ系)(88)は前年度増加したが 2020 年度・2021 年度と同数の志願者数 30 人に減少。
- 総合科学(88)**は、減少で 4 年連続減少。学科別では、(国際共創)(66)は系統への低い人気に加えて、前年度増加の反動で大幅減少、(総合科学)(96)はやや減少で 4 年連続減少。
  - 情報科学(103)**は、前年度減少の反動は小さくやや増加だが、志願倍率は募集人員の 25%増加で、2.5 倍→2.1 倍にダウン。
  - 理(107)**は、やや増加で 3 年ぶりに増加。学科別では、(生物科学)(184)は 2 年連続大幅増加で志願倍率も 3 年ぶりに 3 倍を上回った。(地球惑星システム)(141)は前年度半減以下の反動で大幅増加。一方で、(化)(68)は 2 年連続増加の反動で大幅減少。
  - 工(130)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。募集単位別では、入学時に 4 つの類に所属せずに、1 年次前期終了時点で成績と希望によって各類に配属される(工学特別)(347)は前年度激減して志願倍率が 1.4 倍の低倍率となった反動で 3.4 倍増以上、2020 年度以降は激減・激増の繰り返しが継続。類別募集では、(第四類)(91)は前年度大幅増加の反動で減少だが、これを除く 3 つの類はいずれも増加。特に、(第二類)(133)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(第三類)(125)は募集人員が 11%減少したが、前年度大幅減少の反動で大幅増加、志願倍率も 1.3 倍→1.8 倍にアップ。
  - 医(医)(68)**は、2 年連続増加の反動に加えて、第 1 段階選抜基準を 7 倍→5 倍と厳しくしたことで大幅減少。
  - 医(保健)(97)**は、やや減少。専攻別では、(保健/理学療法学)(110)、(保健/看護学)(103)はやや増加でいずれも 2 年連続増加。一方で、(保健/作業療法)(77)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
  - 歯(歯)(98)**は、前年度大幅増加の反動はなく微減。
  - 歯(口腔健康科学)(84)**は、大幅減少で 2 年連続減少。専攻別では、(口腔健康科学/口腔保健学)(81)は 2 年連続大幅減少で志願倍率は 3.0 倍→2.5 倍→2.0 倍と連続ダウン。(口腔健康科学/口腔工学)(88)は減少して、志願倍率は 1.8 倍と 2 倍を下回った。
  - 薬(84)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、いずれも減少で、(薬)(83)は 2 年連続増加の反動で大幅減少、(薬科学)(90)は減少。
  - 生物生産(165)**は、系統への高い人気に加えて 2 年連続減少の反動で激増。志願倍率も 1.4 倍→2.4 倍にアップ。

#### <後期日程>

- 文(66)**は、2 年連続大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率も 10.9 倍→7.2 倍にダウン。
- 法(101)**は、2016 年度から続いていた大幅な増減が途切れ、変動は小さく前年度並。
- 経済(102)**は、前年度激増に引き続き微増。募集単位別では、いずれの募集単位も個別試験は小論文で、事実上合否は共通テストの成績で決まる。(理科系)(825)は前年度の共通テストで難化した数学が配点全体の 36%と大きな割合であることから敬遠され、志願者数がわずか 8 人だったが、この反動と数学の易化で 8 倍増以上。一方で、(文科系)(75)は逆に数学が配点全体の 4.5%と小さな割合であることから前年度激増したが、この反動と配点全体の 36%を占める国語の難化から敬遠されて大幅減少。
- 教育(69)**は、大幅減少で 2 年連続減少だが、後期日程廃止の 3 コースを除くと (124)の大幅増加。コース別では、募集人員が 2 人から 5 人と少ないことから大幅な増減率になりやすく、募集を行った 9 コース中増加した 6 コースは全て大幅増加。特に、(数理系)(300)は 2 年連続大幅減少の反動で 3 倍、(自然系)(286)は前年度激減の反動で 2.8 倍増以上。(人間生活系)(225)も前年度大幅減少の反動で 2.2 倍増以上。一方で、(心理学系)(83)は 2 年連続大幅減少、(健康スポーツ系)(85)は前年度増加の反動で大幅減少。
- 総合科学(73)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率も 12.6 倍→9.2 倍にダウン。
- 情報科学(80)**は、2021 年度の激増に引き続き、前年度も増加した反動で大幅減少。志願者倍率も 11.0 倍→5.3 倍にダウン。
- 理(60)**は、2 年連続大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、4 学科全てが大幅減少で。特に、(化)(38)は 2 年連続大幅増加の反動に加えて、個別試験が面接のみとなったことで逆転が事実上難しくなったこともあって激減、志願倍率も 13.0 倍→5.0 倍にダウン。
- 工(86)**は、前年度ほぼ倍増の反動で減少。類別では、増減が 2 類ずつに分かれた。(第四類)(127)は大幅増加、(第三類)(108)は増加。一方で、(第二類)(62)は 2 年連続増加の反動で大幅減少、(第一類)(79)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 歯(歯)(97)**は、前年度激増の反動は小さくやや減少。
- 歯(口腔健康科学)(156)**は、後期は(口腔健康科学/口腔工学)のみの募集。志願者数が 2 年連続の 39 人から大幅増加でほぼ 2020 年度の志願者数に戻り、志願倍率も 7.8 倍→12.2 倍にアップ。
- 生物生産(220)**は、個別試験は面接のみで、事実上合否は共通テストの成績で決まる。共通テストの平均点アップにより前年度ほぼ倍増の反動はなく、さらに 2.2 倍増。志願倍率も 4.2 倍→8.1 倍→17.8 倍と連続アップ。